感染症専門医プログラム

定員 2名

プログラム責任者

感染制御部

嵯峨　知生　病院教授

高度感染症ユニット棟でのエボラウイルス感染症疑い患者受入れの合同訓練

専門研修担当者連絡先

嵯峨　知生　病院教授
TEL.018-884-6248　FAX.018-884-6566
E-mail　sagatomoo@med.akita-u.ac.jp
HP　https://www.hos.akita-u.ac.jp/departmentlist/division_of_infection_control_and_prevention.html

プログラムの特徴

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう今ほど感染症の重要性が痛感されている時代はありません。しかし振り返ると医学の歴史は感染症克服の歴史そのものであり、人類は長年にわたって感染症に苦しみ、そしてそれを乗り越えてきました。抗微生物薬や予防接種の開発・普及で数々の感染症が制圧されてきたものの、人類は新型コロナに代表される新興感染症や薬剤耐性菌感染症などによる手痛い逆襲を受けて今に至ります。

感染症診療・感染制御は多くの医師・医療者にとって避けて通ることができない、遭遇頻度・重要性がともに高い領域です。そのような中、感染症専門医は感染症全般に関する知識や感染制御の専門的スキルを背景として感染症対応をリードする、歴史の長い専門医です。感染症医学は診療科横断的であるのみならず、基礎医学・生物学と臨床医学、あるいは理論と実践の融合にその醍醐味がある学際的で魅力に満ちた分野です。

新型コロナについて私たちは多くの職種の方と力を合わせて現場対応から管理業務まで日夜幅広く対応しながら院内のみならず秋田県全体の司令塔としての役割を担っています。一方、感染症の課題は新型コロナ以外にも多くあります。私たちは新型コロナ以前から秋田の感染症の課題解決に取り組んできました。県の要請を受けて新興感染症患者を収容する高度感染症ユニット棟を設計・建設し訓練を重ね、秋田におけるエボラウイルス感染症などのハイリスク新興感染症への対応体制を構築してきました。また、秋田から感染症リスクが高い海外へ赴く渡航者のために、渡航前のリスク評価やワクチン接種等の医療を提供する渡航外来を開設し、“渡航外来空白地域”の解消を達成しました。新型コロナではPCRに代表される微生物の遺伝子検査の重要性が広く認識されましたが、ポストコロナの重要課題である抗菌薬耐性問題も見据え、新型コロナウイルスや薬剤耐性菌を念頭に置いた微生物ゲノム解析環境を整備して秋田の臨床現場に還元する取組みを行っています。

秋田大学医学部附属病院 感染制御部に専従医師が配置された2020年8月からまだ日が浅いものの、感染症専門医の重要性の認知は急速に進みつつあります。秋田で「よりよい感染症診療の実現」を共に推進し、秋田のみならず日本および世界の感染症診療・感染制御をリードする人材を育成することが私たちの願いです。

プログラムの説明

感染制御部の活動を共に行うことを通じて感染症診療・感染制御の実務経験を積むことができます。多職種が定期的に集って院内外の感染症問題を共有し感染対策および抗菌薬適正使用支援の推進を行うICT/ASTラウンド、各診療科からの感染症コンサルテーション対応、感染制御部が関与する各種の教育啓発活動について、担当・参加いただきます。渡航外来は総合診療部と、微生物検査は中央検査部との間でそれぞれ連携しています。本プログラム専攻医を念頭に置き、県内各地から各職種の医療者がリモート参加できる抄読会を早くから実施し、これまで学部学生や県内の医療者にも学会発表を経験いただいてきました。

地方は都市部に比べてリソースが小さいという特性を直視し、地域の実情に合った効率のよい感染症対応を志向する必要があります。一方、現場から地域全体までを守備範囲とする感染症対応に触れる機会が豊富にあることはオールラウンドな対応力の涵養につながり、むしろ地方での研修のほうが得られるものが大きい部分もあります。私たちが秋田に還元するためにこれまで習得・蓄積してきた専門性・ノウハウ・経験・先進技術を余すところなく提供します。

専門医、施設認定 など

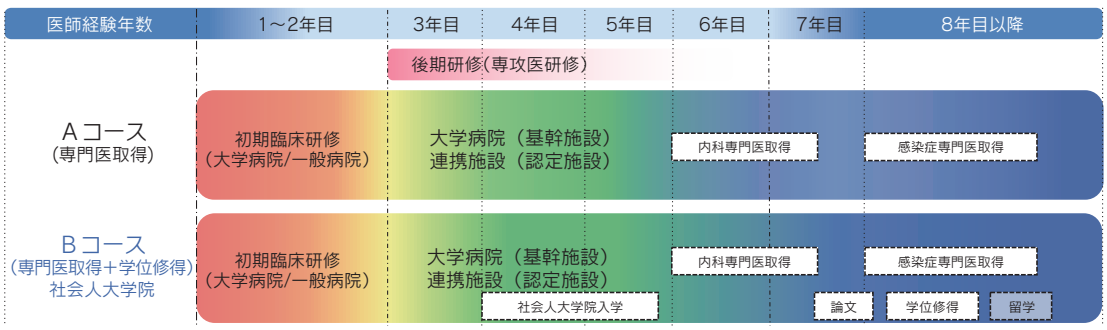
■学会施設認定

日本感染症学会認定研修施設

■プログラム担当者が保有する、本プログラムと関連が深い認定医・専門医

日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医、日本感染症学会 感染症専門医・指導医、ICD（インフェクション・コントロール・ドクター）、日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医、日本臨床微生物学会 認定医、日本臨床検査医学会 臨床検査管理医・臨床検査専門医、Certificate in Travel Health™(The International Society of Travel Medicine認定)、日本渡航医学会 認定医療職、日本旅行医学会 認定医・認定留学安全管理者、日本医師会認定産業医、日本環境感染学会 DICT（災害時感染制御支援チーム）リザーブメンバー

■プログラム担当者の修練・研修施設

東北大学、東邦大学、聖路加国際病院

■取得までのキャリアパス